



優秀賞 (総合部門)

タイトル

「画家の山荘」を寛ぎの家に

タイプ

持家一戸建

講評

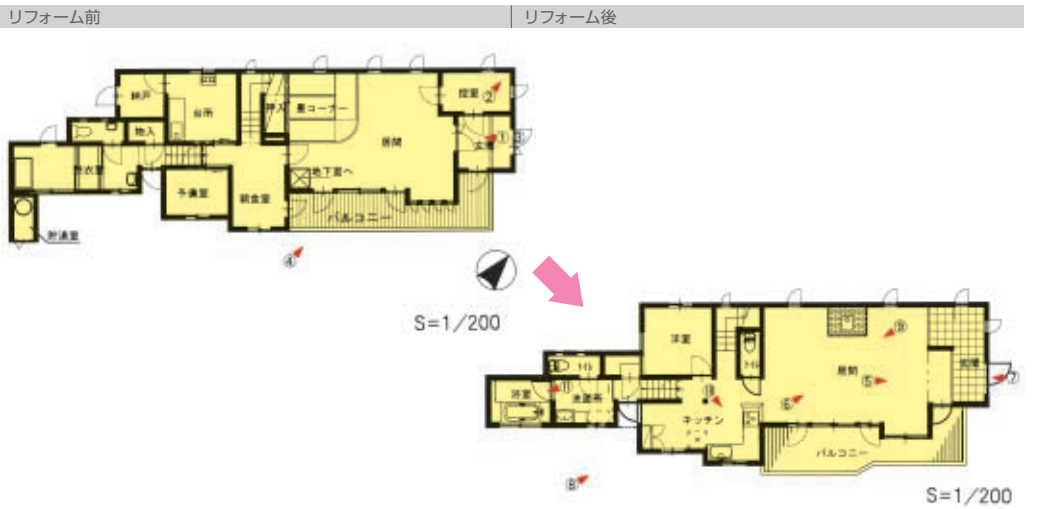
上位賞検討作品。かつて地域の目印とされていた赤い屋根などの外観を残し、内部は建具や床材などをうまく再生させている感じのよい家。全体に白と茶と赤で色調が統一されており、住み手の趣味と家とが共鳴していた。

リフォーム前後の写真



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想 など

- ・70前に「画家の山荘」として建てられた木造地下室付3階建。近代洋風建築物として県の指定を受け歴史的建築物となっている。この建物を購入した施主は、幼い頃から友人宅として訪れていた。
- ・既存は内外とも渓谷側からの風雨でかなり老朽化が進んでいた。「外観を損なわず、この家の持つ魅力を残すこと」をリフォームのポイントとした。
- ・1階はいくつもの小さな部屋に仕切られていたので、間仕切りを全て撤去し、玄関からキッチンまでの広い部屋にした。
- ・玄関は広い土間にし、外と内をつなぐ「あまいな場所」とした。タイルを張ったアクセントウォールは空間を切り取り、この部屋に表情を与えている。
- ・窓や建具のデザインは「この家の魅力」として残し再現した。
- ・暖房効率の良い薪ストーブを採用、「あたたかい家庭」を演出し排熱利用で2階の寝室も温めている。
- ・明るく大きな家になったので「お子さんやお孫さんを招くのが楽しみ」と喜ばれました。



特に配慮した住宅性能：住む人の健康（壁と天井はVOCと重金属を含まない塗装を採用）・省エネルギー（薪ストーブで排熱利用。断熱材とペアガラス採用）
 ・バリアフリー（床の段差解消、浴室内バリアフリー）

データ			
所在地	神奈川県足柄下郡箱根町	構造/築後年数	在来木造 / 70年
該当工事面積	104 m ² / 総工事床面積 104 m ²	該当部分工事費	2,240 万円 / 総工事費 2,240 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 人 / 65歳以上： 2人 / 15歳未満： 人 / ベット： 人		
設計者	東京ガスリモデリング(株)	担当者	天方 幸子
施工者	同上	担当者	橘川 友彦